

2020年6月



NPOグラウンドワーク東海

パートナーシップで地域の環境創造を

第69号 News Letter

特定非営利活動法人グラウンドワーク東海

〒461-8508 名古屋市東区東桜 2-3-7-616

TEL/FAX 052-935-7430

事務局携帯 080-5157-7203

E-mail npo.gw-tokai@ab.auone-net.jp

<http://www.npo-gwtokai.org/>

型

2020年度通常総会のお知らせ

2020年度NPO法人グラウンドワーク東海定通常会の持ち方について検討を重ね、その結果、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでの会議室での開催も、感染リスクゼロにはできないため、やむを得ず定款第30条2項「やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。」との定めを活用し、少人数による総会開催とし、正会員の皆様には書面表決又は委任状での出席をお勧めします。もちろん出席したいとする正会員の出席は認めます、

1日 時

2020年6月27日(土) 13:00~14:00

2場 所

名古屋市東区東桜2-3-7-616 NPO法人グラウンドワーク東海事務局

投票締め切り日時 6月27日 13:00

開票会場 NPO法人グラウンドワーク事務局

審議事項

第1号議案 2019年度 活動報告について

第2号議案 2019年度 活動計算書及び会計監査結果承認について

第3号議案 定款の一部改正

報告事項

第1号報告 2020年度事業計画(案)及び予算(案)について

▶ 審議事項・報告事項は総会1週間以上前にホームページに公開しますので十分ご検討ください。また、投票結果は速やかにホームページで公開します。

開催にあたってのお知らせ

- ① 協力会員(個人、団体、企業)の方は議決に参加できません。議決権は開票時までには会費納入が確認できた正会員(個人、団体、企業)のみです。なお、会員区分の変更、新規加入をご希望の方は前日までに事務局へメール、FAXでご連絡ください。
- ② 開票業務(有効投票確認、議案賛否確認、集計など)は理事会において選挙管理人を選任しますが、三密状態を避けるため他の方の入室はご遠慮願います。
- ③ 総会議決に関わる委任状又は書面表決書はこのNews Letterと同時に発送しますので、対象の方はご確認ください。

会費納入のお願い

- ① 会費は以下の口座に投票開票時までには振込をお願いします。なお、銀行振込手数料は恐縮ですが別途お支払いをお願いいたします。なお、昨年まで行っていましたゆうちょ銀行の払い込み票による振り込みは本年から受け取り通知が有料化されましたので本年から取り扱いを取りやめますのでご了承ください。
- ② 振込請求額は昨年の金額と同額の請求書を同封させていただきましたが、領収書はお手元の銀行振込控えにて代えさせていただきます。会員区分変更、領収書の発行などをご希望の方は事務局までメール、FAXでご請求ください。

③ 振込先

ゆうちょ銀行

記号 12160 番号 45969591

三菱UFJ銀行名古屋営業部

(普通) 店番 150 番号 5759603

第1回グラウンドワークフォーラム

例年、総会とセットでフォーラムを行ってきましたが、本年度は総会のみ開催し、フォーラムは当面延期とします。今後のフォーラムテーマ、運営方式などご意見・ご希望はメールでお受けします。

投稿

日本グラウンドワーク協会理事長の役目を終えて

理事長 竹谷裕之

2020年4月24日、日本GW協会の評議員会で理事長としての任期終了が決議され、後任に中里良一専務理事が理事長に選出されました。GW協会の理事長として2015年3月選出されて以来、5年間、実にいろいろの課題があり、新たな企画も打ち出し、取り組みを進めてまいりましたが、また新たな体制のもと時代に合う形で、地域環境問題や地域社会活性化を切り口に、住民に寄り添いながら課題解決に向け、その力を高める取り組みが強まること、期待しています。

理事長の任が解かれて重荷が一つなくなり、個人的にはホッとしています。しかし、前期はグラウンドワーク笠間の退会もあり、新役員もグラウンドワーク活動を現場で実践してきた理事役員が欠け、長年各地で頑張ってきているグラウンドワーク組織の求心力をどう維持していくか、新たな心配が広がってきたというのが率直なところです。

コロナウイルス禍が活動に影を落としてきており、GW東海も理事会をネットで開催、総会をどう開くのか、活動をどうするか苦慮しています。おそらく全国各地のGW組織も新たな困難を抱えているものと推測されます。

理事長時代に直面した課題で忘れられないのは、理事長なり立て時に政府の公益法人改革に関わり内閣府の担当部署に呼び出され、公益目的支出計画の問題を指摘され計画の見直しを行ったこと、GWUKの理事長・専務理事を招へいしてグラウンドワーク協会設立20周年記念研修会と討論会を東大農学部弥生会館をいっぱいにして開催できたこと、関東地域5大学の学生と意見交換できたこと、GW西神楽、GW東海、小山市で、農業農村の多面的機能支払い活動団体との協働を模索してグラウンドワークサミットを開催したこと、農副連駅活動など新たな領域に活動を広げたことなど、数多くあります。

これら協会の活動蓄積を活かしながら、みんなで力を合わせ、難題を乗り越えて、たくましく活動する方法を見出す努力を積み重ねる必要があります。GW東海もその一翼を担っていくことで、日本グラウンドワーク協会の発展に寄与できればと、祈念しております。

2020/3/7 第2回フォーラム概要

テーマ：楽しめる川づくり

開催日時：2020年3月7日（土）

会場：東カンビル会議室

【開催趣旨】日本ではこれまでの経済発展で豊かさを手にしてきたが、心の中では豊かさを実感していないのではないのか？グラウンドワーク活動は現場に関与することで心の豊かさを取り戻す活動。本日のフォーラムを通じてグラウンドワーク活動をより魅力あるものにする機会としたい

主催：NPO 法人グラウンドワーク東海

ゲストスピーカー：（一社）代表理事、株式会社代表 瀬川貴之

問題認識：幸せのために、水辺のポテンシャルを全然活かしていないのではないのか

具体的成果として豊田市の名倉川漁協の経営環境改善、岩本川の水環境改善活動などの紹介がされた。

社内雰囲気・制度・キーワード

フルフレックス

年5万円自由経費精算
よく働きよく遊べ

リーダー・経営陣評価
個人と社会の幸福の両立

20%自主枠確保
リモート勤務自由・休暇自由

オープン・フェアネス・多様性

自主自立

多面的プロセス評価
能力向上
スパイキー

会社は社員のもの
多面的プロセス評価

ライフステージに沿った働き方を

環境学習（有料）として川に入って生物調査を通じて川・池が形成されてきた地域の歴史を伝えることも行っているが、指導者確保、安全制約から場所が限られるという問題がある。

【意見交換】河川に手を入れるための関係者との調整のありかた（マニュアルに基づく川づくりは妥当か）など河川行政の進め方についてまで話は広がった。一方、民間としてはマニュアルなどエビデンスにとられず感覚で話を進めることも多い。感覚的には80%のマニュアル、20%の民間感覚採用くらいがよいのではと思う。

今後の人口減少、高齢化トレンドを考えると高水敷や堤防といった陸上空間でも除草など維持管理が難しくなることが懸念される。都市住民の参加をすることを考える必要があるが、しかし、それを制度化すると既得権化するという問題が発生することがある。企画代表者の理念がうまく伝わるのが重要ではないか。

河川で楽しむルールの在り方については、自主自立の考え方（自分でリスク判断ができる）でリスク管理教育をすることに尽きるのではないか。しかし、個人的な差があるので一律なステップアップ体験させることは難しい。企画側としては継続的なプログラム・コンテンツを提供する力を持てればよいと思う。

都会住民の家族農業体験はいい事例となるのではないのか。リスクの自覚を持つことが前提になるからである。

（クリアウォーターは）リスクを含めた楽しみを共有できるコミュニティを作ることができたので続いている。

継続的な楽しみの提供は自主自立の環境保全意欲、管理の一部自主管理につながるので大事なことだ。

当法人紹介：運営法人

社団法人概要

子供達が目を輝かせて飛び込んでいくような水辺を未来の世代に。
豊かな水辺環境と水辺文化の創出

株式会社概要

共創型システムパートナー

項目	内容
法人名	株式会社creato
設立年月	2014年4月
従業員数	17人
資本金	1760万円
所在地	愛知県名古屋市長区塩釜2-1403-703
電話番号	052-861-2286
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自社WEB、アプリサービスの企画、開発、リリース、運用までの一気通貫サービス ・システムコンサルティング ・WEBサービス開発 ・スマホアプリ開発 ・画像認識処理/AI開発

なぜ二つの組織が必要なのか

水環境改善という問題解決のためには以下の5条件を満たす必要があると考えている。

◎一人でやることをあきらめる。ほか人の得意分野に期待する

◎収入源を作る＝持続性

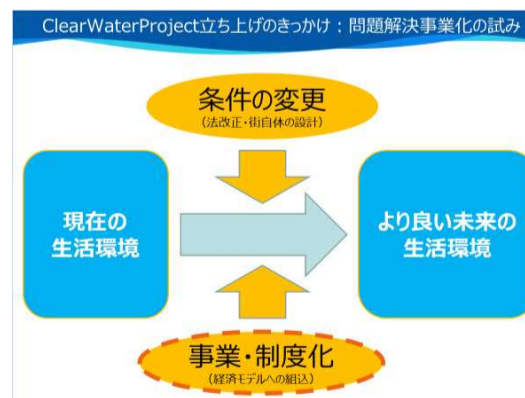
◎個を伸ばす。組織の枠に縛られすぎない

◎8割2割の原則。2割のお金・時間は将来への投資に使う

◎社会的インパクト重視。中間支援団体として地元をサポートする

そのためには社団法人と株式会社の両輪が必要と考えた。

会社に関しては、瀬川さんがもともとコンピューターシステムづくりをやってきたので社団法人の行う「川の遊漁券をネット販売出来る釣りチケット」、「川で遊ぶための「川遊びマップ」配信」などと並行して業務用システム・アプリづくりなどで収入源を確保しつつ川での楽しみを紹介しているとのこと。



二つの組織を通じて川につながる人々との情報共有ツール「AQMAP」

<http://clearwaterproject.info/services/aqmap> を運営して問題解決にあたっている。

組織のポリシーとして中心の考えにあるのが自主自立。自分の能力を磨き自立することが、①専門性を持った人が集まって新しい価値を社会に提供できる、②参加する個人にとっては最悪うち（会社）が潰れても食べていける、③個人の仕事の幸福感（裁量の大きさ）である。これを具体的な言葉にすると以下の表になる。具体的な活動例は詳しいが、これが、クリアウォーターが考える楽しめる川づくりである。

環境コーディネーター事業

【小さな自然再生コーディネーター】

（「ふるさとの川づくり」住民懇談会）

（「小さな自然再生」現地研修会）

（岩本川探検イベント）

【Edu.Nature（月謝制・通年の環境学習塾）】

毎週、3コースを開講し、一年を通じて生き物の生態を学ぶものです。BioGardenWithとのコラボ新事業です。

生き物と生き物、生き物と環境との関わりを究明する「生態学」を学びの中心とし「生態学」で物事を判断できる人材の育成を目指します。机上の学習だけではなく、徹底したフィールドワーク、体験を実践しています。

- ◆場 所 愛知県丹羽郡扶桑町
- ◆定 員 各コース10名
- ◆費 用 入校費、月謝
- ◆対 象 小学生3年生～6年生 男女

【感想】そもそも川での楽しみは何があるのか？釣りが代表的なので漁協が仕切っている例が多いが、他には遊泳で時に水難事故が伝えられたりする。しかし、そんなに遊泳が多いわけではない。高水敷ではキャンプ、イベント、公園利用が代表的であるが水面空間の利用は少ない。

一方、川を空間として見れば誰に対しても公開されている唯一の空間であるから楽しめる川づくりは期待される分野である。利用者のネットワークを作ることがポイントのようだ。グラウンドワーク東海がネットワークづくりの手伝いできれば結構なことである。

